

池宮城秀意 いけみやぎょうい 評論家。明治四十年一月七日沖繩縣國頭郡本部村
 生れ（一九〇七）。筆名池宮秀意。昭和五年早稲田大學文學部獨文科卒。
 『沖繩日報』入社。戦時中縣立図書館司書に轉じ、アメリカ軍の上陸
 直前防衛召集を受け沖繩戦に従軍。戦後、ロウの『新報』（のち『琉
 球新報』と改題）の編輯長、社長。縣内外の新聞、雑誌に執筆した他、
 地元ラジオ、テレビの経営にも關はつた。四十六年、『戦争體驗記録』
 『沖繩の生きこ』および『日本エッセイスト・クラブ賞』受賞。
 他の譯著に、ヴォルフガング・ラングホフ著『強制收容所の十三ヶ月
 ー非政治的な記録』（池宮秀意各、舟木重信共譯、昭和二十二年七月
 五日神奈川・創藝社）、『戦争と沖繩』（昭和五十五年七月、二十一日
 岩波書店「岩波ジュニア新書」）等。

